2025 10 兵庫県立美術館 ニュースレター 2025年10月3日号

HART Newsletter

10月の展覧会

特別展

2026年
–1月4日㈰

リビング・モダニティ　住まいの実験 1920s–1970s

LIVING Modernity:
Experiments in the Exceptional and Everyday 1920s–1970s

学芸員による解説会
10月11日㈯
15:00 –15:45
レクチャールーム
先着順・参加無料

フランク・ゲーリー フランク&ペルタ・ゲーリー邸 1978年
© Frank O. Gehry. Getty Research Institute, Los Angeles (2017.M.66)

コレクション展 I

–12月14日㈰

ベスト・オブ・ベスト 2025

The Best of the Best 2025:
Works from the Hyogo Prefectural Museum of Art Collection

学芸員によるギャラリー・トーク
10月25日㈯
11:00 –11:30
1階改札付近
先着順・参加無料
要コレクション展観覧券

篠原有司男《女の祭》1966 年 山村コレクション

特集 **中山岩太**
Special Show The Photography of Nakayama Iwata
10月3日㈮ –12月14日㈰
（第III期）展開—阪神間モダニズムを生きて
III Developments: Living Hanshinkan Modernism

中山岩太《上海から来た女》1936年頃
中山岩太の会蔵

–12月14日㈰
小企画　美術の中のかたち—手で見る造形
中谷ミチコ
影、魚をねかしつける
Form in Art—Perceiving with the Hand
Nakatani Michiko
Shadow, Lulling the Fish to Sleep

中谷ミチコ
《影、魚をねかしつける》部分 2025年、石膏
Photo: Matsubara Yutaka

リビング・モダニティ展
HART TALK 館長といっしょ！ Vol.19

10月25日㈯
14:00–15:30　KOBELCOミュージアムホール（開場13:30–）
講　師　**松隈 章** 氏（一般社団法人聴竹居倶楽部代表理事）
聞き手　**林 洋子**（当館館長）
テーマ　**藤井厚二の眼差し—もうひとつのモダニズム—「聴竹居」**
先着順・参加無料（要特別展観覧券）　※詳細は web サイトより

リビング・モダニティ展　映画観賞会（2015年 / ベルギー・アイルランド / 108分）
『ル・コルビュジエとアイリーン　追憶のヴィラ』

10月18日㈯
①10:30–　②14:00–　KOBELCOミュージアムホール
監　督　メアリー・マクガキアン　出　演　オーラ・ブラディ、ヴァンサン・ペレーズ ほか
参加費　一般800円　**高校生以下無料**　芸術の館友の会会員500円
問合せ　兵庫県映画センター（078-754-5503）

近代建築の巨匠ル・コルビュジエ。彼が生涯で唯一、その才能をうらやんだと言われる女性アイリーン・グレイ。後世に影響を与え続ける二人のアーティストの人生と「狂騒の時代」を、実際の建築や家具などを用いながら眩しい映像美でつづる。

※ 当日券のみ、上映30分前から会場前で受付
※「リビング・モダニティ展」チケット・半券提示で無料

手話通訳および要約筆記付き
ゆっくり解説会 in Autumn

10月12日㈰
13:30–14:25　レクチャールーム　先着順・参加無料
特別展「リビング・モダニティ展」「コレクション展 I」の担当学芸員が、展覧会の見どころを普段よりも「ゆっくり」したペースでお話しする解説会です。

リビング・モダニティ展
SNS投稿キャンペーン　ポスタープレゼント

本展に関する写真をSNSで＃投稿していただいた方、各期先着150名にB2折ポスターをプレゼント（なくなり次第配布終了）。
第1期：9月20日～　　第2期：10月18日～

New

コレクション展 無料日

10月12日㈰　**毎月第2日曜日**　自由に話せる観覧日（公財）伊藤文化財団のご協賛

相互割引　「リビング・モダニティ展」×横尾忠則現代美術館展覧会

「リビング・モダニティ展」と横尾忠則現代美術館で開催中の「復活！横尾忠則の髑髏まつり」展では、一方の館のチケット半券をもう一方の館で提示すると、相互割引に！

※各回詳細が決まり次第、当館ホームページでお知らせします。

兵庫県立美術館 HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART